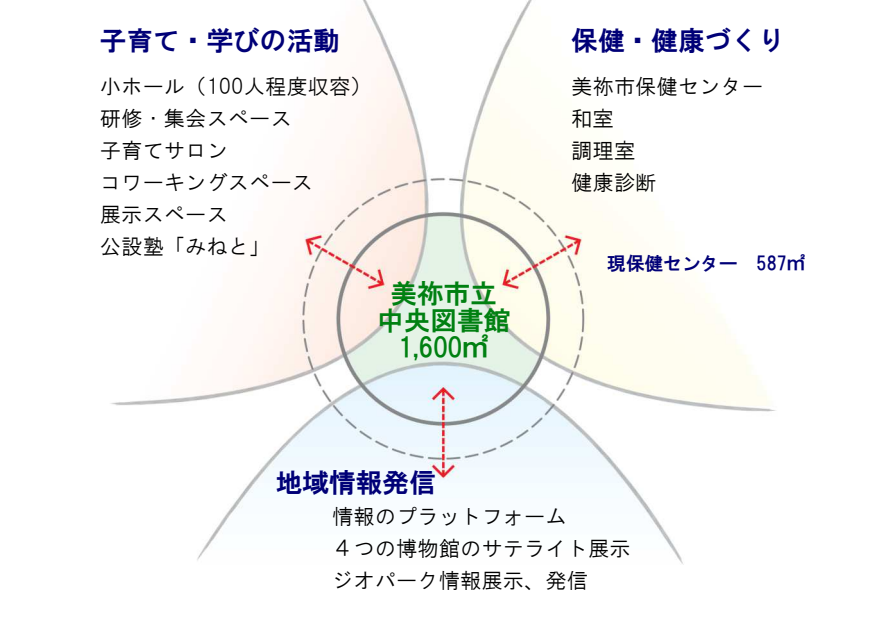


〇〇 他
 の施設との複合・融合について

市民アンケートでは、図書館と複合していると良いと思う施設に関しては、カフェが最も多く、次いで、子育て関係の施設への要望が多く、研修室、講座室、展示ギャラリーが続きました。また、既存の保健センターの老朽化に伴う機能の更新を考える必要があること、市内4つの博物館が点在し、それぞれの特色がわかりにくいので、サテライトのような施設があったら良い、などの意見もあり、合築複合することで、効果的であると思われる施設との関係を整理します。

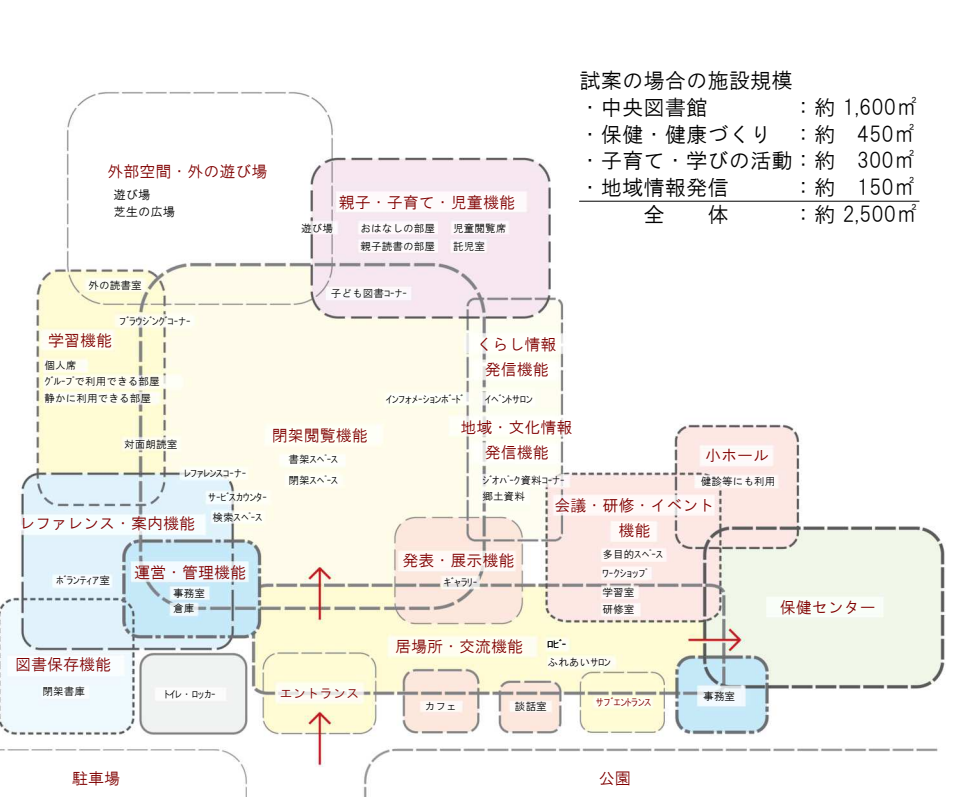
〇複合の考え方



〇〇 複合化の試案について

図書館を中心に、子育てや学びの活動、保健・健康づくり、地域情報発信という機能が複合した施設の構成案です。類似機能の「重ね使い」が可能となり、また、「ついで利用」、「ながら利用」により、全体面積をコンパクトにできるなど複合化のメリットが期待できます。

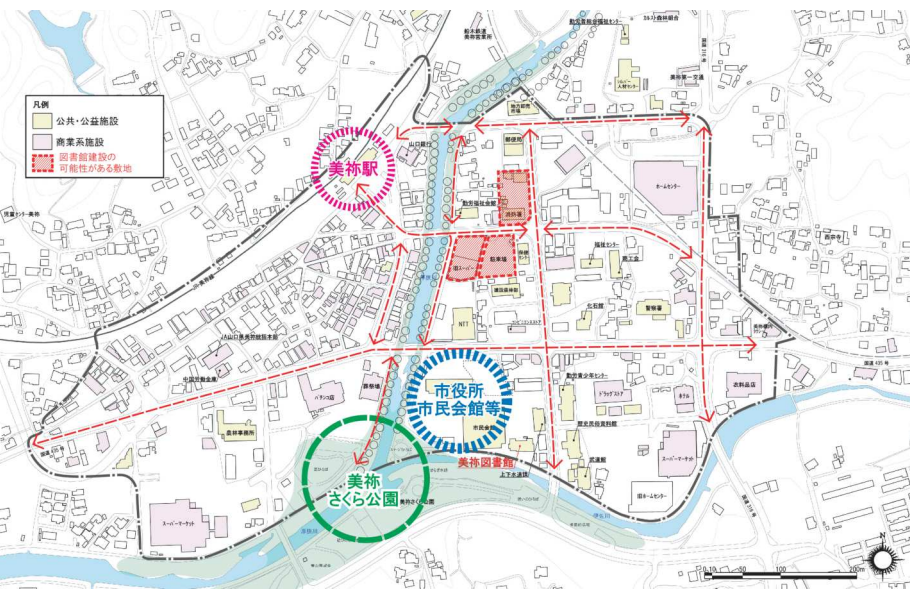
〇複合化の試案の例



〇〇 施設の立地について

新しい図書館の建設場所の選定は、これからの市の中心部のまちづくりを考える上では極めて重要です。市の中心部では、旧丸和跡地、吉則駐車場、消防署の移転に伴う跡地、農林課などの建物の跡地、などが建設可能な土地です。これらの敷地は、美祢駅に近い、高校のスクールバス発着場に近い、新しい市庁舎に近い、厚狭川の桜並木や、さくら公園に近い、郵便局に近いなど、立地上の利点があります。これらの特性を生かし、子ども達が思い切り遊び、市民がゆっくり過ごすことで、新しい人の流れをつくり、市の中心部の賑わいの再生が期待できます。

〇図書館建設の可能性がある敷地



〇〇 今後のスケジュールについて

■図書館そだて会議（仮称）の実践

これまでの計画検討は、美祢市立図書館あり方検討委員会の議論の中に、一般市民の方も加わる形で進めてきましたが、市民が力を合わせつくる新しい図書館づくりを引き続き実現していくために、今後、市民の主体的な参加による「図書館そだて会議（仮称）」を実施することを検討します。図書館そだて会議は、計画の初期の段階から市民が参加し、図書館のあり方の検討から、設計段階、施工段階を経て、実際の運営まで主体的に関わっていこうとする協働の会議・実践の場（プラットフォーム）です。

■整備スケジュール

基本計画策定期間中では、図書館を中心とした公共施設の複合・融合の方針を確定できるまでの検討ができていないのが現状です。基本計画作成の後に、関係課と連携しながら、市の中心部のまちづくり計画（立地適正化計画など）を踏まえた複合化の検討を十分な時間をかけて行う必要があると考えられます。そして、複合化の方針が確定した後、基本設計・実施設計に進んでいく流れを大切にすることが重要であるといえます。従って、概ねの整備スケジュールは以下に示す流れを考えています。

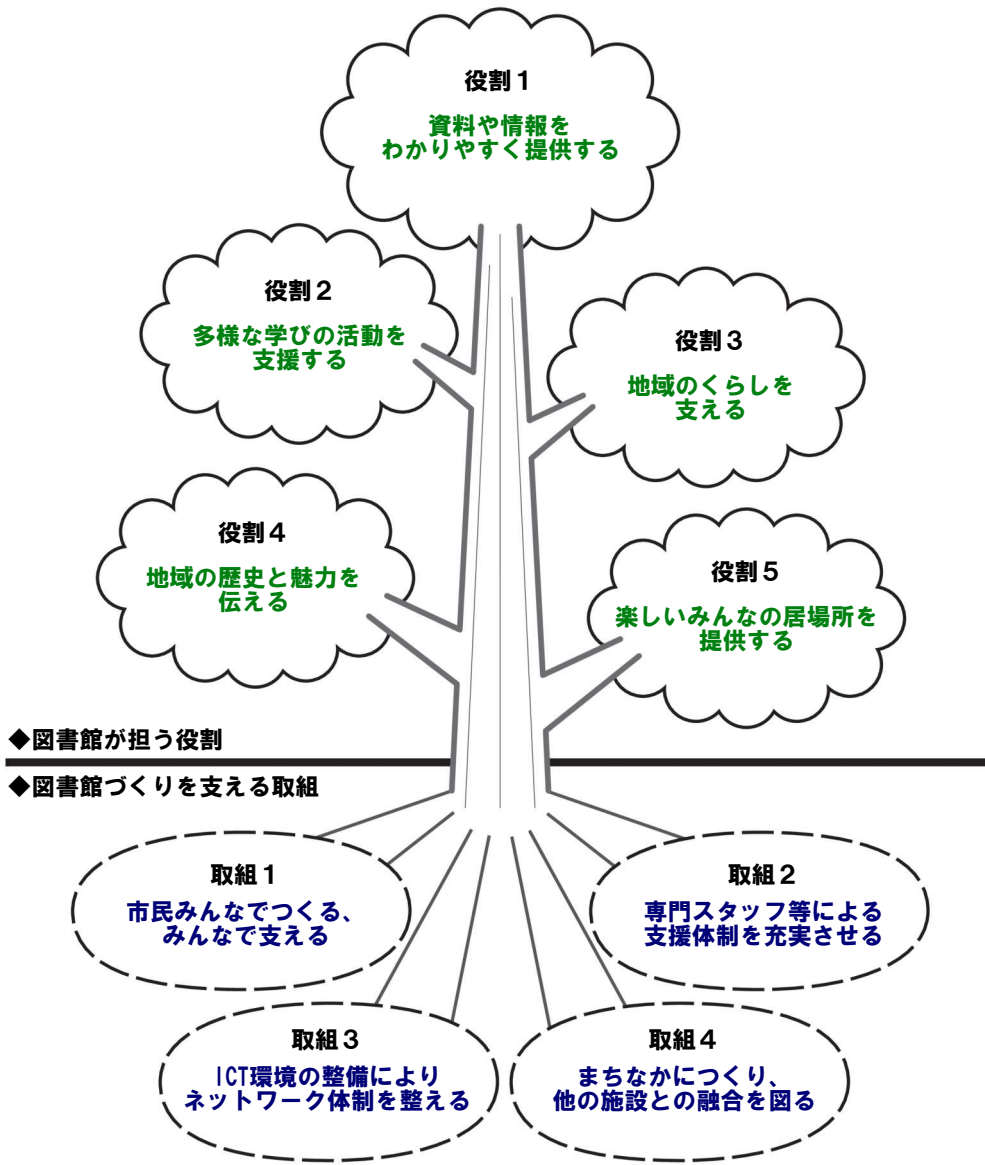
年度	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)
基本構想	基本構想						
基本計画		基本計画					
複合化構想			複合化構想				
基本設計 実施設計				基本設計 実施設計			
建設工事						建設工事	

問い合わせ先：美祢市立美祢図書館 tel 0837-52-0213

美祢市立図書館基本計画

＜概要版＞

歴史(おかし)をたずね、
 現在(いま)を知り、
 未来(あした)を育む、
 わたしたちの「ひろば」



◆図書館が担う役割

◆図書館づくりを支える取組

図書館が担う5つの「役割」と、それを支えるための4つの「取組」が連携してつくりあげる新しい美祢市立図書館の構成イメージ

2022年11月
 美祢市教育委員会

市民アンケート

詳細については市のホームページに掲載されている基本計画資料編にてご確認いただくことができます。

新しい美祢市立図書館の基本計画を策定するに当たり、市民の意見を把握するため、市民アンケートを実施しました。回答数は総数1099に上り多くの市民の意見を集めることができました。

■市民アンケートの概要

実施期間：2022年2月28日～3月18日

一般市民アンケート対象者：19歳以上の市内の一般市民

高校生アンケート : 美祢青嶺高校、成進高校の2年生

小中学生アンケート : 市内 11 の小学校の 5 年生、市内 6 の中学校の 2 年生

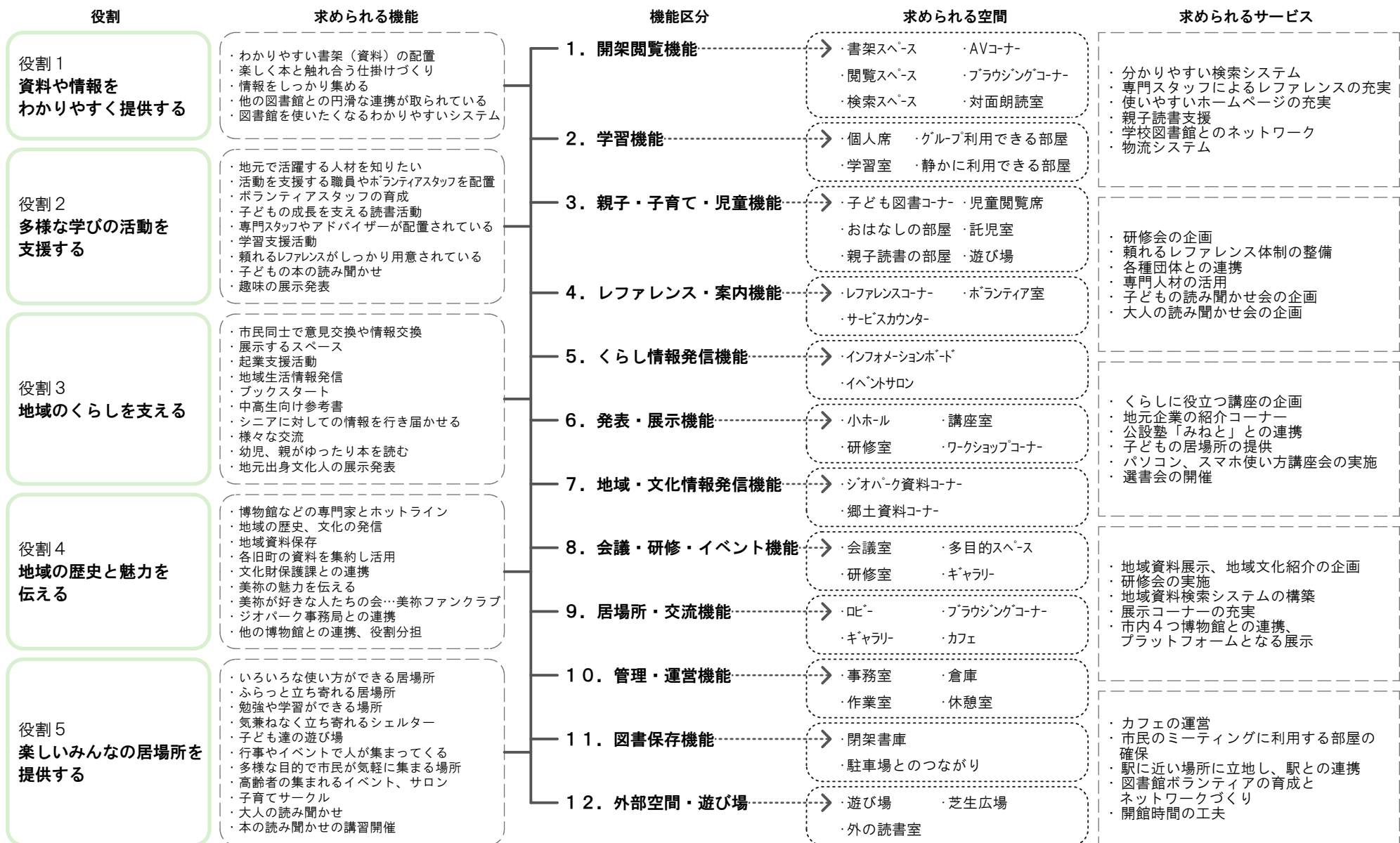
分 類	項 目	回 答 数
一般市民	紙面での回答(2,300配布)	(※1) 552
	インターネットによる回答(市報に掲載)	(※2) 143
	一般市民合計	695
高校生	美祢青嶺高校	73
	成進高校	92
	高校生合計	165
小・中学生	小学生(小学5年生)	120
	中学生(中学2年生)	119
	小・中学生合計	239
アンケート合計		1,099

(※1)：紙面での回答数については、図書館窓口でのアンケートの案内による回答も含まれます。

(※2)：配布によるアンケートは紙面とインターネットによる両方の回答を可能としたため、一部インターネットによる回答も含まれます。

📖 新しい図書館に求められる機能と空間とサービス

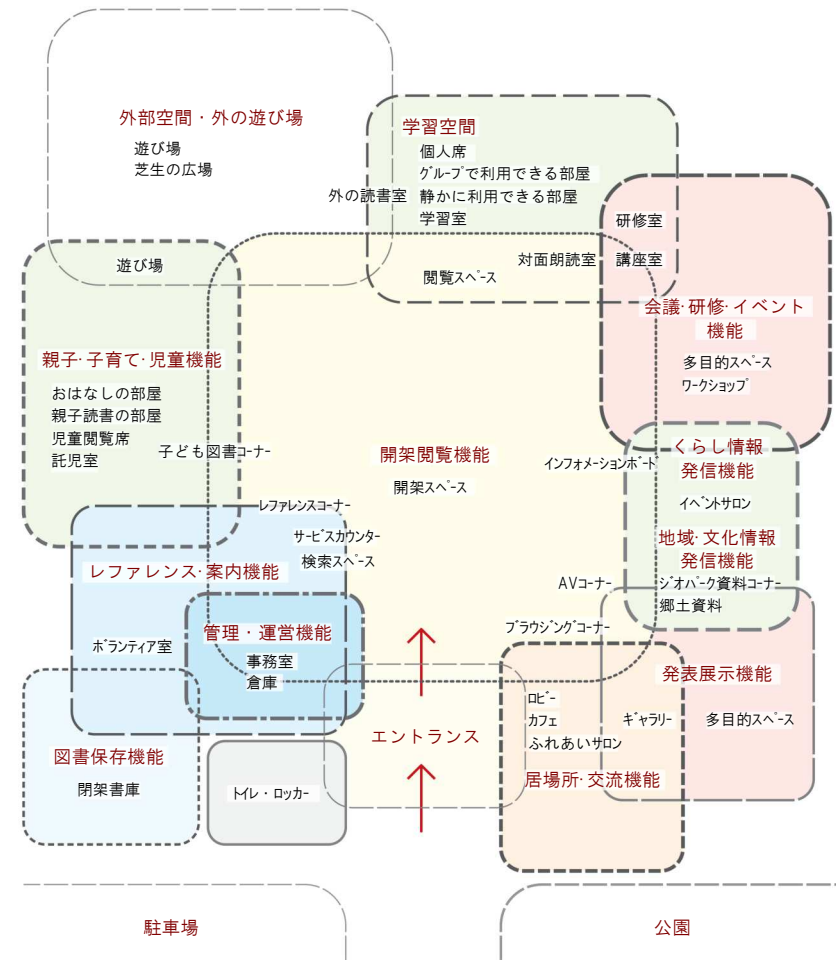
5つの役割を担うために必要な「機能」、「空間」、「サービス」について、相互の関係を整理しました。



📖 施設構成の基本的な考え方

新しい図書館に必要な機能については、新しい図書館の「役割」を担うために求められる「機能」で確認した内容で構成します。それぞれの機能ごとに空間相互のつながりのあり方（空間関係）を考慮しながら「新しい図書館の全体構成」を決定していきます。

○新しい図書館の全体構成



📖 図書館運営の「美祿システム」の構築

新しい美祢市立中央図書館と美東地域図書館、秋芳地域図書館、および公民館図書室、小・中学校、高等学校図書室、幼稚園・保育園図書室などが緊密な連携のもと、ひとつのシステム「美祢システム」として働き、市民の身近にサービスが行き届く図書館運営を実現します。また、このシステムを効果的に運用するため、周辺市町や山口県立山口図書館との連携を一層深めていきます。

○美祢システムの構成図

